意見発表者9（会場②群馬県長野原町）

意見の概要

利水については東京都の最大給水量を現状の約2割増しの600万m³/日にするなど現状から乖離している。群馬県の水道も水需要が減少の一途をたどっている。人口減の時代に合わせ、地下水の利用や水利権の見直しを行えば、八ッ場ダムに水源を求める必要性は皆無である。治水については、基本になる数字として著しく過大なものをあげている。馬渕大臣が、国会であげた数字は今まで国交省が出してきた数字とは違っており、この検証で出されている数字も今までとは違っているなど、八ッ場ダム案が有利になるように、数字の操作が行われており、私たち一般人から見て極めて不透明である。何よりも心配なのは、現地の安全性である。その検証もしっかりやってほしい。大滝ダムなど今まで作られても大な問題をかかえているダムが数多くある。その検証も合わせてやってほしい。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。